

「田之浦小学校の田之浦山宮神社神楽舞伝承活動の取組」

1. 学校名	志布志市立田之浦小学校
2. 学年・人数	1年生から6年生 計24人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年6月末～7月末, 11月, 令和7年1月～2月 (2) 発表の日時・場所 令和6年8月3日(土) 田之浦山宮神社夏祭り 田之浦ふるさと交流館 令和6年11月30日(土) 夜神楽 田之浦ふるさと交流館 令和7年2月2日(日) ダゴ祭り 田之浦山宮神社
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	(1) 名 称 田之浦山宮神社神楽舞 (たのうらやまみやじんじゃかぐらまい) (2) 由 来 ダゴの奉納とともに古くから行われてきた春祭の行事で, 1942(昭和17)年の奉納を最後に長い間途絶えていた。1982(昭和57)年に神楽保存会が組織され, 1983(昭和58)年2月の春祭に神舞が復活し, 12段が奉納された。校区の方々へ披露するために集落持ち回りの夜神楽を行っていたが, 1998(平成10)年から, 現在25段を2年に1度の夜神楽で奉納している。 (3) 構成等 ダゴ祭りの時には, 5段の舞を山宮神社特設ステージで奉納し, その後, ダゴ花取りが行われる。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	神舞は構成等が多種多様で, 現在は保存会を中心とした取組になっている。児童生徒, 保護者を含め学校や地域の協力のもと, 地域ぐるみで実施されている。本校在籍であれば舞うことができるということで, 保護者や祖父母も経験者として, 子や孫たちに励ましの言葉を掛けている。現在, 校区外から通学する特認校生も重要な担い手として活躍している。また, 夕方や土曜日の練習となるが, 保護者も積極的に協力し, 衣装の着付け等も保存会の方々と共に行っている。2年に一度の夜神楽は, 午後4時から午後10時頃になるため, 夜食の準備等は地域ぐるみで行っている。 ダゴ祭りの準備では, 教育課程に位置付けて, 児童が高齢者の方々の指導を受けて竹串(ひらひら)作りとダゴ作りを行い, ダゴ花を作成している。
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	 放課後の練習の様子  「夜神楽」での子供神楽披露
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【児童】 ・お客さんの前で神楽を披露するのは, 何回経験してもすごく緊張します。 ・地域の方に指導されたことを思い出し, 全力で舞を披露できました。お客さんの拍手や指導者の方から褒めてもらえて自信につながりました。 【保護者】 ・地域の伝統文化を継承するという貴重な経験を通して, 子供たちが大きく

	成長したことを感じます。神楽保存会の方の熱心な指導のおかげで、本番はたくさんの観客の前で堂々と舞を披露することができていました。これからも神楽を通して多くのことを学んでほしいと思います。
--	---